

名前：

もう21世紀に入、た今日、科学の進展のスピードは昔より速い、いろんな新しいも研发されました。この中、も、とも大切なのはインターネットの発明だと思います。

最初、インターネットは軍事の用途として使われますが、その後、民間に開放して、学術と商業の用途になりました。インターネットはいくつかの点がいち、例えば、台湾にいる筆者はもし緊急な仕事がある米国の同僚に伝えたい、昔、私はただ手紙やFAX或は電話という方法が選べました。遅くて費用も高いです。今、そういう場合があれば、ただインターネットでe-mailを使、て、数分間私の仕事が終わります。その他、われわれもインターネットでインフォメーションをもらえます。米国のプロ野球をしている松坂とイチローは今どうだ？日本のプロ野球選手ダルビッシュー今の試合は勝ちますか？韓国の大統領の選挙は終わるそうですね... そういうことはただインターネットを使、てすぐ分

ります。これは昔想像できないことです。インターネットは地球を小さくして、世界中の人々を結んだとも言えます。

でも、インターネットの速い発展に連れ、のは伝統のマス・メディアの衰退です。その中、もっとも重い衝撃を受けたのは新聞です。インフォを伝うスピードはインターネットより遅くて、費用も要ります。ですから、ある人々が新聞が代われるかという疑問を出しました。しかし、私はそう思いません。伝統のマス・メディアは今厳しい冬に直面して、いか、もし新しい戦略を出したらこれからも生き生きと存続していきまうと思えます。方法はいくつかあります：1.新聞は記事だけをしないで、その事件の背後の原因、社会の背景、関係あるの事件も一緒、もっと深く報導するわけでは。2.インターネットと結んで、附加の価値をできるだけ出さようにします。3.もっと商業化、企業と合作して、例えば、クーポンを出さ、でも、この方法は悪い

1800字

題：インターネットの発展と伝統 mass media の関係

TM026jp

名前：

点もあります、それは企業の立場に立って、
利益しか考えない。民衆の利益が忘れやすい
です。ですから、自分の新聞社の利益と民衆
の利益とも注意すべきです。

1800字